## FUJ¦FILM

## ワークフロー 管理アプリケーションのヘルプ ArcSuite 4.0

## はじめに

このたびは富士フイルムビジネスイノベーションのArcSuite<sup>®</sup>をご利用いただき、まことにありがとうございます。

一般に、企業活動では、各業務に関する情報はさまざまな形態のドキュメントとして存在しています。ここでいうドキュメントとは、紙に書かれた文書だけを示す狭義のものではありません。紙はもちろんのこと、ホワイトボードに書かれた文字や図表、プロジェクターやテレビに映し出された映像などを含む広義なものを指します。ドキュメントは一般に、ひとりの手で作成されるものではなく、複数の人の意見交換や討議を経て作成されます。単純な作業や複雑な計算はコンピューターに委ねられ、あらゆる分野でさまざまなソリューションが展開されていますが、ドキュメントの作成では一般に人が中心なのです。

ArcSuiteは、「ドキュメント」に着目して「人」と「人」をつなぐ、「ドキュメント指向」のソリューション・ パッケージです。ArcSuiteをご利用いただくことによって、さまざまなコンピューターシステムを統合したうえ でのドキュメントの共有や管理が可能になります。

お使いの商品構成によって、次の機能が標準で提供されないことがあります。

コラボスペース、ドキュメントレビューオプション、ワークフロー、分類ビュー、関連文書検索サービス、原本性 保証オプション、キャプチャリングサービス、統合検索サービス、オンラインバックアップオプション、ドキュメ ントー括操作ツール、連携フォルダ for DocuWorks、連携オプション for Working Folder

本書の内容は、Microsoft Windows Operating System、およびWebブラウザーの基本的な知識や操作方法を習得されているかたを対象として記述しています。

Excel、Microsoft、Windows、およびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Xerox、Xeroxロゴ、およびFuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

その他の社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。 Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。

ご注意

- ・本書の編集、変更、または無断での転載はしないでください。
- ・本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・本書に記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって 異なることがあります。

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。 ArcSuite、およびDocuWorksは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

## 著作権について

本ソフトウェア、およびバックアップのために複製されたソフトウェアに関する著作権等を含む一切の無体財 産権は、弊社および弊社への供給者に帰属します。 (c) 2002-2021 FUJIFILM Business Innovation Corp.

### マニュアル体系

ArcSuiteには、次のマニュアルおよびヘルプがあります。 マニュアルは、PDFファイルまたはヘルプの形式で提供しています。 主なマニュアルは、『ポータル画面のヘルプ』から参照できます。『ポータル画面のヘルプ』は、Webブラウ ザーの操作画面にある[ヘルプ]から表示できます。

補足お使いの商品構成によっては、提供されない機能の説明がマニュアルに含まれることがあります。

#### ■ 管理者ユーザー向け

名称	概要
セットアップガイド	本製品全体のセットアップ方法について説明しています。
システム管理者ガイド	リソース管理サービスの概要、機能、管理操作を行うコマンドについ て説明しています。また、本製品の運用に必要な管理作業について説 明しています。
ドキュメント管理サービス管理者	ドキュメント管理サービスの概要、機能、および管理操作を行うコマ
ガイド	ンドについて説明しています。
ドキュメント管理サービス管理ア プリケーション デスクトップ版の ヘルプ	サーバーで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。
ドキュメント管理サービス管理 アプリケーション Web版のヘル プ	クライアントPCで行うドキュメント管理サービスの管理操作について 説明しています。
オフラインバックアップ・	オフラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作につ
リストア運用ガイド	いて説明しています。
リソース管理アプリケーションの	ユーザー、グループ、ユーザーロールの追加、およびライセンスの編
ヘルプ	集、検索について説明しています。
ログインサーバー管理アプリケー ションのヘルプ	ログインサーバーでの認証モードの設定について説明しています。
メッセージ通知管理アプリケー	メッセージ通知サーバーの設定、メッセージのスプール管理、メッ
ションのヘルプ	セージテンプレートの設定について説明しています。
ポータル管理アプリケーションの	ユーザープロファイルに表示する項目の設定、お知らせの設定につい
ヘルプ	て説明しています。
ドキュメントスペース管理アプリ	属性テンプレートや表示する属性の設定、表示するボタンの設定、お
ケーションのヘルプ	よびシステム環境の設定について説明しています。
表示アプリケーション管理ツール	表示アプリケーションのテンプレート、システム環境の設定について
のヘルプ	説明しています。
ログ管理アプリケーションの	ログを表示する機能、ログを取得する機能、および保守情報を一括で
ヘルプ	取得する機能について説明しています。

名称	概要
監視ツールのヘルプ	ArcSuiteのコンポーネントにアクセスしているユーザー、データベー スの状態、およびセッションの状態を監視する機能について説明して います。
ドキュメントスペースドキュメン	ドキュメントスペースの機能にURLを使用して接続する機能について
ト操作URLリファレンスガイド	説明しています。
オンラインバックアップ・	オンラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作につ
リストア運用ガイド	いて説明しています。
e-文書法対応 概要説明書	e-文書法対応の概要および原本性保証オプションの機能について説明 しています。
コラボスペース管理アプリケー	コラボスペースのメールの設定、ログの設定、およびタスクやメッ
ションのヘルプ	セージの用語をカスタマイズする設定について説明しています。
ワークフロー管理アプリケーショ	ワークフロー定義または起動テンプレートの作成者および公開者の設
ンのヘルプ(本書)	定、ログの設定、外部コマンドの設定について説明しています。
キャプチャリング管理アプリケー	キャプチャリングサービスの監視キューに対する操作について説明し
ションのヘルプ	ています。
統合検索サービス管理アプリケー	統合検索サービスのリソースの設定、収集スケジュールの設定、およ
ションのヘルプ	びシステム環境の設定について説明しています。
コラボスペースタスク操作URL	コラボスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明し
リファレンスガイド	ています。
ワークフロー操作URLリファレン	ワークフローの機能にURLを使用して接続する機能について説明して
スガイド	います。
Webサービスインターフェイス	ArcSuiteの機能にSOAPを使用して接続するAPIについて説明してい
リファレンスガイド	ます。
ドキュメント管理サービスSDK	ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理するコマンドについ
リファレンスガイド	て説明しています。
コラボスペースInterface Toolkit	コラボスペースのオブジェクトを処理するコマンドについて説明して
リファレンスガイド	います。
ワークフロー Interface Toolkit	ワークフローのオブジェクトを処理するコマンドについて説明してい
リファレンスガイド	ます。

### ■ クライアントユーザー向け

名称	概要
ポータル画面のヘルプ	ポータル画面で、お気に入りの編集、ユーザープロファイルを変更す る操作について説明しています。 Webブラウザーの操作画面にある[ヘルプ]から参照してください。
アドレス帳のヘルプ	アドレス帳で、ユーザー、グループ、ユーザーロール、およびタスク を検索する操作について説明しています。
ドキュメントスペースのヘルプ	ドキュメントスペースで、登録、属性の変更、検索などのドキュメン トを管理する機能の操作について説明しています。
表示アプリケーションのヘルプ	表示アプリケーションで、ブラウザーイメージ変換された画像を編集 する操作、およびユーザー設定について説明しています。
検索条件式のヘルプ	ドキュメントスペースの詳細検索で、全文検索または属性検索の条件 式をXMLで指定するときの記述方法について説明しています。

名称	概要
簡易操作のヘルプ	簡易操作画面でドキュメントを管理する機能の操作、および操作画面 の設定方法について説明しています。
コラボスペースのヘルプ	コラボスペースで、タスクの作成、メッセージの登録、および検索な どの操作について説明しています。
ワークフローのヘルプ	ワークフローで、ワークフロー定義の作成、公開および起動する操作、 作業を実行する操作について説明しています。
ドキュメントー括操作ツール説明	Microsoft Excelを使って、ドキュメント管理サービスのオブジェクト
書	を処理する操作について説明しています。
デスクトップクライアント	デスクトップクライアントのセットアップ方法について説明していま
セットアップガイド	す。
デスクトップクライアント	デスクトップクライアントで、ドキュメント管理サービスのフォル
操作説明書	ダーやドキュメントにアクセスする操作方法について説明しています。
連携フォルダ for DocuWorks	連携フォルダ for DocuWorksのセットアップ方法について説明して
セットアップガイド	います。
連携フォルダ for DocuWorksの	DocuWorks Deskで、ArcSuiteに登録されているドキュメントを操
ヘルプ <sup>(*1)</sup>	作する方法について説明しています。

\*1: 連携フォルダ for DocuWorks をインストールした DocuWorks Desk のヘルプから参照してください。

### 本書の使い方

本書は、ArcSuiteの基本的な操作について説明しています。

#### ■ 本書の構成

本書は、次の章から構成されています。

1 ワークフロー管理アプリケーションとは

ワークフロー管理アプリケーションの概要について説明しています。

2 ワークフロー管理アプリケーションを起動、終了する

ワークフロー管理アプリケーションの表示方法について説明しています。

#### 3 定義公開者を設定する

定義公開者を設定する方法について説明しています。

#### 4 定義作成者を設定する

定義作成者を設定する方法について説明しています。

#### 5 メール通知を設定する

メール通知を設定する方法について説明しています。

### 6 ログレベルを設定する

ログレベルを設定する方法について説明しています。

#### 7 ワークフローキャビネットを設定する

ワークフローキャビネットを設定する方法について説明しています。

### 8 不要なデータの削除スケジュールを設定する

ワークフローキャビネットの不要なデータを削除する方法について説明しています。

#### 9 外部コマンドスケジュールを設定する

ワークフローの外部コマンドを実行させない方法について説明しています。

### 10 外部コマンドサービス状態を設定する

ワークフローの外部コマンドサービスの設定について説明しています。

#### 11 外部コマンドの一覧を表示、更新する

ワークフローの外部コマンドの一覧を表示する方法について説明しています。

### 12 外部コマンドの実行情報を設定する

ワークフローの外部コマンド実行の設定方法について説明しています。

### 13 その他の設定をする

ワークフローのその他の設定方法について説明しています。

### ■ 本書の表記

・本書では、次の記号を使用しています。

<>+-	キーボードのキーを表します。 例: <enter>キーを押します。</enter>
[]	画面に表示されるメニュー、ボタン、項目を表します。 例:[新規作成] をクリックします。
L 1	同一マニュアル内の参照箇所を表します。 また、強調する用語やメッセージも表します。 例:「1 概要」 「名前が指定されていません。」と表示されます。
ſ	参照するマニュアルの名前を表します。 例:『システム管理者ガイド』
{ }	ユーザー名やサーバー名など、操作時に変わる値を表します。 例:[{ユーザー名}]をクリックします。
>	メニューやWebページの階層を表します。 例:[システムとセキュリティ]>[管理ツール]
注記	一般的な注意事項を表します。
補足	機能や操作に関する補足説明を表します。
参照	参照する事項があることを表します。
	参照先タイトルやページへのリンクがあることを表します。 例: <u>「1 概要」(P.6)</u>

・Microsoft Windows Operating System を「Windows」と表記しています。

・パーソナルコンピューターを「PC」と表記しています。

・お使いの環境によって、マニュアルに記載の画面と実際の画面が異なることがあります。

目次

### 1 ワークフロー管理アプリケーションとは

### 1.1 ワークフロー管理アプリケーションとは ......10

### 2 ワークフロー管理アプリケーションを起動、終了する

2.1	管理アプリケーションを起動する	
	2.1.1 管理アプリケーションを起動する手順	
2.2	管理メニューを選択する	
	2.2.1 ワークフロー管理画面の構成	
2.3	管理アプリケーションを終了する	
	2.3.1 管理アプリケーションを終了する手順	

### 3 定義公開者を設定する

3.1	定義公開	閉者を設定する	. 16
	3.1.1	[管理者設定:定義公開者] ページの構成	. 16
	3.1.2	定義公開者を設定する手順	. 16

### 4 定義作成者を設定する

4.1	定義作為	成者を設定する	.18
	4.1.1	[管理者設定:定義作成者] ページの構成	. 18
	4.1.2	定義作成者を設定する手順	. 18

### 5 メール通知を設定する

5.1	メール	通知を設定する	20
	5.1.1	[メール通知設定] ページの構成	20
	5.1.2	メール通知を設定する手順	20

### 6 ログレベルを設定する

6.1	ログレイ	ベルを設定する	22
	6.1.1	[ログ設定] ページの構成	22
	6.1.2	ログレベルを設定する手順	23

### 7 ワークフローキャビネットを設定する

7.1	1 ワークフローキャビネットを設定する		
	7.1.1	[ワークフローキャビネット設定] ページの構成	25
	7.1.2	ワークフローキャビネットを設定する手順	25

### 8 不要なデータの削除スケジュールを設定する

8.1	不要な	データの削除スケジュールを設定する	. 27
	8.1.1	[不要データ削除] ページの構成	27
	8.1.2	不要なデータの削除スケジュールを設定する手順	27

### 9 外部コマンドスケジュールを設定する

9.1	外部コ	マンドスケジュールを設定する	29
	9.1.1	[外部コマンドスケジュール設定] ページの構成	29
	9.1.2	外部コマンドスケジュールを設定する手順	29
	9.1.3	外部コマンドスケジュールを修正する手順	30

### 10 外部コマンドサービス状態を設定する

10.1	外部コマ	マンドサービス状態を設定する	32
	10.1.1	[外部コマンドサービス状態設定] ページの構成	32
	10.1.2	外部コマンドサービス状態を設定する手順	32

### 11 外部コマンドの一覧を表示、更新する

11.1	外部コマ	マンドの一覧を表示、更新する	34
	11.1.1	[外部コマンドー覧]ページの構成	. 34
	11.1.2	外部コマンドの一覧を表示、確認する手順	. 34

### 12 外部コマンドの実行情報を設定する

12.1	外部コマ	マンドの実行情報を設定する	. 36
	12.1.1	[外部コマンド実行設定] ページの構成	. 36
	12.1.2	外部コマンドの実行情報を設定する手順	. 36

### 13 その他の設定をする

13.1	その他の	D設定をする	38
	13.1.1	[その他の設定] ページの構成	38
	13.1.2	その他の設定をする手順	38

## **1** ワークフロー管理アプリケーションとは

ワークフロー管理アプリケーションの概要について説明します。

## 1.1 ワークフロー管理アプリケーションとは

ワークフロー管理アプリケーションでは、ワークフローの次の管理ができます。

- ・管理者の設定(ワークフロー定義および起動テンプレートの定義公開者および定義作成者の設定)
- ・メール通知の設定
- ・ログレベルの設定
- ・ワークフローキャビネットの設定
- ・不要データの削除スケジュールの設定
- ・外部コマンドスケジュールの設定
- ・外部コマンドサービス状態の設定
- ・外部コマンド一覧の確認
- ・外部コマンド実行情報の設定
  - 参照 それぞれの管理操作の詳細については、次の項を参照してください。
    - ・<u>「3 定義公開者を設定する」(P.15)</u>
    - ・<u>「4 定義作成者を設定する」(P.17)</u>
    - ・<u>「5 メール通知を設定する」(P.19)</u>
    - ・<u>「6 ログレベルを設定する| (P.21)</u>
    - ・<u>「7 ワークフローキャビネットを設定する」(P.24)</u>
    - ・<u>「8 不要なデータの削除スケジュールを設定する」(P.26)</u>
    - ・<u>「9 外部コマンドスケジュールを設定する」(P.28)</u>
    - ・「10 外部コマンドサービス状態を設定する」(P.31)
    - ・<u>「11 外部コマンドの一覧を表示、更新する」(P.33)</u>
    - ・「12 外部コマンドの実行情報を設定する」(P.35)

# 2 ワークフロー管理アプリケーションを起動、終了する

ワークフロー管理アプリケーションにアクセスする手順を説明します。

## 2.1 管理アプリケーションを起動する

ワークフロー管理アプリケーションにアクセスすると、「ワークフロー管理」画面が表示されます。

### 2.1.1 管理アプリケーションを起動する手順

- **1.** [ポータル] 画面の [システム管理] リンクをクリックします。 [システム管理] 画面が表示されます。
- **2.** [システム管理] 画面の左側にある [システム管理] から、[ワークフロー] をクリックします。 画面の右側に、ワークフローの情報が表示されます。
- **3.** 管理アプリケーションのリンクをクリックします。 [管理ログイン] 画面が表示されます。
- **4.** 管理者権限を持つユーザーの [ユーザー ID] と [パスワード] を入力します。
- **5.** [ログイン] をクリックします。 ログインに成功すると、ワークフロー管理画面が表示されます。

## 2.2 管理メニューを選択する

### 2.2.1 ワークフロー管理画面の構成

ワークフロー管理アプリケーションの設定は、画面の左側に表示される管理メニューから選択できます。

ワークフロー管理	<↓ ワークフロー管理
管理者設定	ワークフローの各種設定をします。2020日、マイナット
定義公開者 定義作成者	といメニューから、設定する項目で選択してください。
メール通知設定	
ログ設定 ワークフローキャビネット設定	
不要データ削除	
外部コマンドスケジュール設定	
外部コマンドー覧	
外部コマンド実行設定	
その他の設定	

図:[ワークフロー管理] 画面

[ワークフロー管理] の各項目について説明します。

- ・[管理者設定:定義公開者] ページ ワークフロー定義および起動テンプレートの定義公開者を設定できます。
- ・[管理者設定:定義作成者]ページ ワークフロー定義の定義作成者を設定できます。
- ・[メール通知設定]ページ メッセージ通知サーバーの URL やメール送信元のアドレス、メールを送信するイベントを設定できます。
- ・[ログ設定]ページ ワークフローから出力されるログの種別ごとに、ログ出力レベルを設定できます。
- ・[ワークフローキャビネット設定]ページ ワークフローキャビネットにあるドロワー ID を設定できます。
- 「不要データ削除」ページ
   システム内の不要データを削除するスケジュールを設定できます。
   「外部コマンドスケジュール設定」ページ
- 外部コマンドを実行しないスケジュール(日程、停止期間)を設定できます。
- ・[外部コマンドサービス状態設定]ページ 外部コマンド実行サービスの状態を確認して、サービスを実行/停止できます。
- ・[外部コマンド一覧]ページ ワークフローに登録されている外部コマンドを更新できます。
- ・[外部コマンド実行設定]ページ 外部コマンド実行の実行間隔、同時実行数について設定できます。
- ・[その他の設定]ページ ワークフローのその他の設定について設定できます。

## 2.3 管理アプリケーションを終了する

ここでは、管理アプリケーションを終了する手順を説明します。

### 2.3.1 管理アプリケーションを終了する手順

- **1.** 画面右上の 🕣 ([ログアウト] アイコン) をクリックします。 ログアウトし、[ログイン] 画面に戻ります。
- **2.** Web ブラウザーの [x] をクリックします。 管理アプリケーションが終了します。

## 3 定義公開者を設定する

定義公開者を設定する手順を説明します。

## 3.1 定義公開者を設定する

定義公開者は、個人用定義としてワークフロー定義を作成し公開することができます。 公開したワークフロー定義から、起動テンプレートを作成することができます。 ここでは、定義公開者を設定する手順を説明します。

### 3.1.1 [管理者設定:定義公開者] ページの構成

[ワークフロー管理]で、[管理者設定]の[定義公開者]リンクをクリックすると、[管理者設定:定義公開者]ページが表示されます。

ワークフロー定義の公開者の設定を行います。 国アドレス帳 () () () () () () () () () () () () ()	
(721)	
	同語

図:[管理者設定:定義公開者] ページ

### 3.1.2 定義公開者を設定する手順

#### 1. リストに定義公開者を追加または削除します。

・[アドレス帳]

クリックすると、[アドレス帳]画面が表示されます。アドレス帳で選択したユーザー、グループ、およびロールを、定義公開者に追加できます。

・[削除]

リストの定義公開者を選択してから[削除]をクリックすると、選択した定義公開者が削除されます。 参照 [アドレス帳] 画面の操作方法については、『アドレス帳のヘルプ』を参照してください。

補足 定義公開者には、名前(必須)が68文字以上のグループ、61文字以上のロールは設定できません。

2. [設定] をクリックします。

設定内容が登録されます。

## 4 定義作成者を設定する

定義作成者を設定する手順を説明します。

## 4.1 定義作成者を設定する

定義作成者は、個人用定義としてワークフロー定義を作成できます。 作成したワークフローを公開することはできません。 ここでは、定義作成者を設定する手順を説明します。

### 4.1.1 [管理者設定:定義作成者] ページの構成

[ワークフロー管理]で、[管理者設定]の[定義作成者]リンクをクリックすると、[管理者設定:定義作成者]ページが表示されます。

🔾 管理者設定: 定義作成者	
ワークフロー定義の作成者の設定を行います。	
国アドレス帳) ×削除	
(なし)	
	() 最定

図:[管理者設定:定義作成者] ページ

### 4.1.2 定義作成者を設定する手順

#### 1. リストに定義作成者を追加または削除します。

## 「アドレス帳] クリックすると、「アドレス帳] 画面が表示されます。アドレス帳で選択したユーザー、グループ、およびロールを、定義作成者に追加できます。

・[削除]

リストの定義作成者を選択してから [削除] をクリックすると、選択した定義作成者が削除されます。 参照 [アドレス帳] 画面の操作方法については、『アドレス帳のヘルプ』を参照してください。

補足 定義作成者には、名前(必須)が68文字以上のグループ、61文字以上のロールは設定できません。

2. [設定] をクリックします。

設定内容が登録されます。

## 5 メール通知を設定する

メールを送信するために必要な項目を設定する手順を説明します。

## 5.1 メール通知を設定する

## 5.1.1 [メール通知設定] ページの構成

[ワークフロー管理]で、[メール通知設定] リンクをクリックすると、[メール通知設定] ページが表示されます。

< <p>ペメール通知設定</p>	
ワークフローのメールに関する設定を行います。 メッセージ通知サーバーのURL	1
メールマスターメールアドレス	1
<ul> <li>メール通知イベント</li> <li>              ・企業の状態が実行可能な状態になった時             ・②             作業責任者が作業実行者を決定した時             ・②             案件実行中の例外発生時             ・②             余件実行中の例外発生時             ・②             作業中止時             ・②             代行者を指定(解除)した時      </li> </ul>	
	「「夢設定」

図:[メール通知設定] ページ

### 5.1.2 メール通知を設定する手順

### 1. 次の各項目を設定します。

- ・[メッセージ通知サーバーの URL] メッセージ通知サーバーの URL を入力します。
- ・[メールマスターメールアドレス] ワークフローから通知するメールの送信元メールアドレスを設定します。 メールアドレスは、次の形式で入力します。
   [xxx@yyy.zzz] xxx 部分全体がダブルクォートされていない場合は、[() <>@,;:"[] ¥] および空白文字を含む文字 は入力できません。
   yyy.zzz 部分は、IP アドレス形式か、[() <>@,;:"[] ¥] および空白文字を含まない文字である必要 があります。
   ・[メール通知イベント] 特定のイベントが発生したときにワークフローシステムがメールを送信するかどうかを、イベントご
- 特定のイベントが発生したときにワークフローシステムがメールを送信するかどうかを、イベントで とに設定します。 チェックボックスにチェックマークがついていれば、イベントの発生時にメールが送信されます。 チェックマークがついていなければ、メールは送信されません。デフォルトではすべてのチェック ボックスにチェックマークがついています。
- **2.** [設定] をクリックします。

設定内容が登録されます。

## 6 ログレベルを設定する

ログレベルを設定する手順を説明します。

## 6.1 ログレベルを設定する

### 6.1.1 [ログ設定] ページの構成

[ワークフロー管理]で、[ログ設定] リンクをクリックすると、[ログ設定] ページが表示されます。 ワークフローで記録するログは次の4種類です。

- ・アカウントログ ワークフローが管理するオブジェクトに対する操作内容を記録します。
- ・セッションログ セッションの確立と終了を記録します。
- ・システムログ エラー情報、管理操作、運用上の解析情報を記録します。
- ・トレースログ
   開発者用のデバッグ情報を記録します。

ヘログ設定		
ワークフローのログに関する設定を行います。		
ログ名	ログレベル	
アカウントログ	INFO V	
セッションログ	INFO V	
システムログ	INFO V	
トレースログ	OFF V	
	「■設定」	

図:[ログ設定] 画面

#### [ログ設定] 画面の各項目について説明します。

項目	説明
[ログ名]	出力レベルを設定するログ名が表示されます。
[ログレベル]	ログの種類(アカウントログ、セッションログ、システムログ、トレースロ グ)ごとに出力レベルをラジオボタンで選択します。 ・OFF ログを記録しません。 ・FATAL FATAL レベルの情報を記録します。 ・ERROR FATAL および ERROR レベルの情報を記録します。 ・WARN FATAL、ERROR、および WARN レベルの情報を記録します。 ・INFO FATAL、ERROR、WARN、および INFO レベルの情報を記録します。 ・DEBUG FATAL、ERROR、WARN、INFO、および DEBUG レベルの情報を記録します。 ・TRACE FATAL、ERROR、WARN、INFO、DEBUG、および TRACE レベルの情報 を記録します。
[設定]	クリックすると、ログの出力レベルが設定されます。

### 6.1.2 ログレベルを設定する手順

- 1. 次の各項目を設定します。
  - ・[ログ名] ログ種別が表示されます。

デフォルトでは次の組み合わせになっています。 アカウントログ= INFO セッションログ= INFO システムログ= INFO トレースログ= OFF

- ・ [ログレベル] プルダウンメニュー ログごとのレベルを選択します。ログレベルは、重要度が高いものから順番に上から並んでいます。 OFF:ログを記録しません。
   FATAL: FATAL レベルの情報を記録します。
   ERROR: FATAL および ERROR レベルの情報を記録します。
   WARN: FATAL、ERROR、および WARN レベルの情報を記録します。
   INFO: FATAL、ERROR、WARN、および INFO レベルの情報を記録します。
   DEBUG: FATAL、ERROR、WARN、INFO、および DEBUG レベルの情報を記録します。
   TRACE: FATAL、ERROR、WARN、INFO、DEBUG レベルの情報、および取得できるすべての情報を記録します。
- **2.** [設定] をクリックします。 設定内容が登録されます。

## 7 ワークフローキャビネットを設定する

ワークフローキャビネットを設定する手順を説明します。

## 7.1 ワークフローキャビネットを設定する

### 7.1.1 [ワークフローキャビネット設定] ページの構成

[ワークフロー管理] で、[ワークフローキャビネット設定] リンクをクリックすると、[ワークフローキャビ ネット設定] ページが表示されます。

🖏 ワークフローキャビネット設定						
ワークフローのキャビネットに関する設定を行います。						
再起動後のワークフロー用ドロワーID:						
設定の変更はシステムを再起動するまで反映されません。						
	■ 一日 日本					

図:[ワークフローキャビネット設定]ページ([編集] クリック後)

## 7.1.2 ワークフローキャビネットを設定する手順

- **1.** [ワークフロー用ドロワー ID] で使用中のワークフロー用ドロワー ID を確認します。
- **2.** ワークフロー用ドロワーを編集する場合には[編集]をクリックします。 再起動後のワークフロー用ドロワー ID が変更できる状態になります。
- 3. [再起動後のワークフロー用ドロワー ID] に変更後の ID を入力します。

## 補足 ドロワー ID は次の形式で表示されます。 {サービス ID} : {キャビネット ID} : {ドロワー ID} ドロワー ID は、ドキュメント管理サービス管理アプリケーションを起動することで調べることができます。

**4.** [設定] をクリックします。 設定が登録されます。

## 8 不要なデータの削除スケジュールを設定 する

ワークフローキャビネットの中にある不要なデータを削除するためのスケジュールを設 定する手順を説明します。

## 8.1 不要なデータの削除スケジュールを設定する

ワークフロー起動画面で、フォーム内に文書を添付したまま[キャンセル]をクリックしないでWebブラウザー を閉じると、フォームの内容が文書として残ります。

「不要データ削除」を行うと、フォームの内容として残った不要な文書を削除できます。

### 8.1.1 [不要データ削除] ページの構成

[ワークフロー管理]で、[不要データ削除] リンクをクリックすると、[不要データ削除] ページが表示されます。

### 8.1.2 不要なデータの削除スケジュールを設定する手順

#### 1. 次の各項目を確認および設定します。

- ・[現在のスケジュール] 現在の設定している不要データ削除のスケジュールが表示されます。
- ・[日程] プルダウンメニュー [毎日]、[毎週] のどちらかを選択します。「毎週」を選択すると、曜日を選択するラジオボタンが表 示されます。
- ・[開始時刻] プルダウンメニュー 削除処理を開始する時刻を選択します。
- ・[設定] クリックすると、スケジュールが登録されます。

## 9 外部コマンドスケジュールを設定する

指定された日時に外部コマンドの実行開始を回避するための設定をする手順を説明します。

## 9.1 外部コマンドスケジュールを設定する

### 9.1.1 [外部コマンドスケジュール設定] ページの構成

[ワークフロー管理] で、[外部コマンドスケジュール設定] リンクをクリックすると、[外部コマンドスケ ジュール設定] ページが表示されます。

### 9.1.2 外部コマンドスケジュールを設定する手順

#### 1. [< 新規作成 >] をクリックします。

クリックすると、ページ下部の[日程] と[停止期間]の値がリセットされます。 補足 外部コマンドスケジュールは最大 10 件設定できます。

### 2. 次の各項目を設定します。

- ・[日程の種類] プルダウンメニュー 日程の種類を選択します。
- ・[日程]

[指定日]を選択した場合は、特定の日付を設定できます。年月日で入力します。

□□(「カレンダー」アイコン)をクリックすると表示される「カレンダー」画面でも指定できます。 [毎月]を選択した場合は、毎月の外部コマンドスケジュールを設定できます。1~31日または末日から選択します。

[毎週]を選択した場合は、毎週の外部コマンドスケジュールを設定できます。曜日を選択します。 [毎日]を選択した場合は、毎日の外部コマンドスケジュールを指定できます。 デフォルト値は[指定日]です。

・[停止期間]

外部コマンドが停止する期間を設定します。

[時計] アイコン)をクリックすると表示される画面でも指定できます。
 停止状態となる期間の始まりの時刻と、そこからの[時間]または[分間]を指定します。
 単位のデフォルト値は[時間]です。

### 3. [追加] をクリックします。

外部コマンドの実行開始を回避するスケジュールが追加されます。

## 9.1.3 外部コマンドスケジュールを修正する手順

- 1. 修正する外部コマンドスケジュールを選択します。
- 2. 外部コマンドスケジュールを修正します。
- [修正]をクリックします。
   修正した外部コマンドスケジュールが登録されます。
   各項目の設定方法は、新規に設定する場合と同様です。

### 9.1.4 外部コマンドスケジュールを削除する手順

- 1. 削除する外部コマンドスケジュールを選択します。
- **2. [削除] をクリックします。** 外部コマンドスケジュールが削除されます。

## 10 外部コマンドサービス状態を設定する

外部コマンド実行サービスの起動、または停止を設定する手順を説明します。

## 10.1 外部コマンドサービス状態を設定する

### 10.1.1 [外部コマンドサービス状態設定] ページの構成

[ワークフロー管理] で、[外部コマンドサービス状態設定] リンクをクリックすると、[外部コマンドサービ ス状態設定] ページが表示されます。

🔍 外部コマンドサービス状態設定							
ワークフローのコマンド実行サービスに関する設定を行います。 <b>サービス状態</b> 実行中							
					停止		
実行中の外部コマンド数 0(最大:20)							
					5 最新の状態に更新		
₪ 案件名		起案者	作業名	コマンド名	実行日時		
表示する項目がありません。							

図:[外部コマンドサービス状態設定] ページ

## 10.1.2 外部コマンドサービス状態を設定する手順

- 1. 次の各項目を確認および設定します。
  - ・[サービス状態] 外部コマンド実行サービスの状態が表示されます。
  - ・[実行中の外部コマンド数] 現在実行中の外部コマンド数が表示されます。
  - ・[最大] 同時に実行される最大外部コマンド数が表示されます。
  - ・[最新の状態に更新] クリックすると、実行中の外部コマンド一覧が更新されます。
  - ・ [ID] 現在実行中のアクションの ID が表示されます。
  - ・[案件名] 現在実行中の案件名が表示されます。
  - ・[起案者] 現在実行中の案件の起案者が表示されます。
  - ・[作業名] 現在実行中の作業名が表示されます。
  - ・[コマンド名] 現在実行中の外部コマンド識別名が表示されます。
  - ・[実行日時] アクションの実行日時が表示されます。
- 2. サービス状態を確認し、必要な処理のボタンをクリックします。
  - ・[開始]

サービス状態が[停止中]、[停止]のときに表示されます。ボタンをクリックすると、外部コマンド 実行サービスが開始されます。

- ・[停止] サービス状態が [開始中]、[実行中] のときに表示されます。ボタンをクリックすると、外部コマン ド実行サービスが停止されます。
- ・[再表示]
   外部コマンド実行サービスの状態の取得に失敗したときに表示されます。クリックすると、画面が再 表示されます。

## 11 外部コマンドの一覧を表示、更新する

外部コマンドの一覧を表示して、更新する手順を説明します。

## 11.1 外部コマンドの一覧を表示、更新する

### 11.1.1 [外部コマンド一覧] ページの構成

[ワークフロー管理]で、[外部コマンドー覧] リンクをクリックすると、[外部コマンドー覧] ページが表示 されます。

### 11.1.2 外部コマンドの一覧を表示、確認する手順

#### 1. 次の各項目を確認します。

- ・[外部コマンドの配置フォルダ] 外部コマンドの配置フォルダが表示されます。
- ・[更新日時] 現在表示されている外部コマンドを読み込んだ日時が表示されます。
- ・[再読み込み] クリックすると、外部コマンドが再度読み込まれます。外部コマンドサービスの状態が「停止」の場 合だけ表示されます。またクラスター環境では表示されません。
- ・[識別名] 外部コマンドの識別名が表示されます。
- ・[表示名] 外部コマンドの表示名が表示されます。
- ・[フォルダ] 外部コマンドが格納されているフォルダ名が表示されます。
- ・[再表示]
   外部コマンドー覧の取得に失敗したときに表示されます。クリックすると、画面が再表示されます。
- ・[編集] 使用する外部コマンド配置フォルダを変更するための[外部コマンドー覧]ページが表示されます。 このボタンはクラスター環境でだけ表示されます。
- ・[再起動後の外部コマンド配置フォルダ]
   再起動した後に使用する外部コマンドの配置フォルダが表示されます。設定を変更していない状態では表示されません。
   クラスター環境でだけ表示されます。
- ・[設定]
   クリックすると、設定内容が登録されます。
   このボタンはクラスター環境でだけ表示されます。
- ・[キャンセル] クリックすると設定内容を破棄して入力前の設定に戻します。

## 12 外部コマンドの実行情報を設定する

外部コマンド実行の実行間隔、同時実行数について設定する手順を説明します。

## 12.1 外部コマンドの実行情報を設定する

### 12.1.1 [外部コマンド実行設定] ページの構成

[ワークフロー管理]で、[外部コマンド実行設定]リンクをクリックすると、[外部コマンド実行設定]ページが表示されます。

### 12.1.2 外部コマンドの実行情報を設定する手順

#### 1. 次の各項目を確認および設定します。

- ・[実行状態調査間隔] 外部コマンドの実行状態を調査する間隔を秒単位で設定します。指定できる値は1以上の整数です。
- ・[再実行の間隔] スケジュールや最大同時実行数により実行できなかった場合の外部コマンド再実行の間隔を秒単位で 設定します。指定できる値は1以上の整数です。
- ・[最大同時実行数] 外部コマンドの最大同時実行数を設定します。指定できる値は1以上の整数です。
- ・[設定]
   ・
   クリックすると、
   設定内容が登録されます。

## 13その他の設定をする

ワークフローのその他の設定をする手順を説明します。

## 13.1 その他の設定をする

### 13.1.1 [その他の設定] ページの構成

[ワークフロー管理]画面で、[その他の設定] リンクをクリックすると、右フレームに[その他の設定]ページが表示されます。

### 13.1.2 その他の設定をする手順

- 1. 次の各項目を確認および設定します。
  - ・[定義情報のアップロード] 定義情報をアップロードするときの最大データサイズを設定します。設定する値の単位は M バイト で、設定できる値は 1 から 100 M バイトまでの整数です。
  - ・[通知メール] 標準で用意されているメッセージのテンプレートを適用するかどうかを設定します。
  - ・[CSV 形式のダウンロード] CSV 形式でダウンロードするとき、ドキュメント型属性の形式を指定します。
  - ・[作業のフォーム] 作業のフォームに関して、ドキュメントの最大表示件数と未着手状態のフォームを開いた際の動作を 設定します。

[ドキュメントの最大表示件数]

- ドキュメントの最大表示件数は1~1000までの整数です。
- [未着手状態のフォームを開いた際の動作]
- 未着手状態の作業を開いた際に、その作業を実行するかどうかを設定します。
- ・[作業一覧]
   作業一覧で複数の作業を選択して作業を完了するときに、ユーザー認証をするかどうかを設定します。
   [ユーザー確認しない]
   完了時にユーザー認証が必要な作業の場合、エラーとなり、作業を完了できません。
   [必ずユーザー確認する]
   完了時にユーザー認証が必要な作業の場合、[ユーザー確認] 画面が表示されます。[ユーザー確認]
   画面で入力したユーザーID とパスワードで認証されると、作業が完了します。
- ・[案件に対する権限] 案件に対して、ワークフロー定義管理者と起案者の権限を設定します。
- ・[ドキュメント情報の更新]
   ドキュメント登録アクティビティでドキュメントを登録した後、ドキュメント情報更新を行うかどう
   かを設定します
- ・「ワークフロー起動〕
   「ワークフロー定義一覧(起動用)のアイコンおよび名前リンクに割り当る操作]
   ワークフロー定義一覧(起動用)画面を表示したとき、アイコンおよび名前リンクに割り当てる操作を設定します。
   「チェックアウト/ロック対象を自分がチェックアウトしている場合]
   チェックアウト/ロック対象となるドキュメントを自分がチェックアウト/ロックしている場合の動作を設定します。
   「チェックアウト/ロックしないで起動する場合の添付文書数の制限]
   チェックアウト/ロックしないで起動する場合、添付する文書数を制限するかどうかを設定します。
   チェックアウト/ロックして起動する場合は100個以下に制限されます。
- ・[禁止操作] 案件に対して禁止する操作を設定します。
- ・[チェックアウト/ロックの自動解除] 起案時に行ったチェックアウト/ロックを自動解除するかどうかを設定します。
- ・[ドキュメント削除] ドキュメント削除を行ったときに、実行履歴のドキュメントも削除するかどうかを設定します。

・[設定] クリックすると、設定内容が登録されます。